

令和3年度地震・津波防災訓練 (内閣府・福岡県豊前市)

実施報告書 (概要版)

福岡県豊前市について

豊前市は、福岡県の東南部に位置し、北で周防灘に面している。市内には岩岳川、佐井川などの河川が流れている。交通網としては、東九州自動車道、国道10号およびJR日豊線が通っている。

豊前市では、地震や津波による被害は記録されていないが、南海トラフの地震と、それに伴う津波によって浸水が想定されており、警戒が必要となっている。

市は、東日本大震災を契機に、防災訓練を毎年実施しており、地震・津波を想定した避難訓練や台風の接近による河川氾濫を想定した避難訓練などを行っている。

今回の事業では、出屋区を対象とした津波避難訓練として、地区内の軽費老人ホーム「ケアハウスさくら」との連携による訓練を実施した。また、訓練実施前後にワークショップを開催し、訓練前には実施すべき内容の確認を行い、訓練後には、訓練の振り返りと今後の訓練のあり方について話し合った。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和3年11月7日（日）午前9時00分に、南海トラフを震源とする地震が発生し、市では震度5強を観測、豊前市付近には大津波警報が発表された。ケアハウスさくらでは、津波に備え上層階への避難訓練を、周辺地域（出屋区）では、避難場所（ケアハウスさくら駐車場）への避難訓練を実施した。
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和3年10月22日（金）19:00～21:00
【訓練】令和3年11月7日（日）9:00～12:00
【訓練実施後WS】令和3年11月24日（水）19:00～21:00
令和4年3月14日（月）19:00～21:00
- 主催：豊前市、内閣府
- 参加者数：約250名
- 参加機関：出屋区内の住民、福祉社会法人豊前東明会（ケアハウスさくら）、豊前市消防団、豊前警察署 等

訓練の評価

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う各種制約の中、訓練参加者を施設内と施設外に区分して、地震・津波防災訓練を実施した。津波発生を想定した避難訓練後に参加機関の協力のもと、応急救護訓練・パネル展示・車両展示他、各種体験訓練を実施した。訓練当日は天候にも恵まれ、市職員や参加機関等合わせて約250名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、地域住民のアンケート結果等を分析し、今後の防災対策や津波避難訓練の参考となるよう「得られた成果と対策案」を整理した。

【得られた成果】

- ケアハウスさくら内では、職員が防災頭巾を入居者に配布し、階段を使って上層階誘導する訓練となったが、職員の的確な行動により円滑に実施できた。
- 出屋区住民の避難訓練については、徒歩による避難に加え、要配慮者についてはケアハウスさくらの協力による、車椅子の貸し出しや、車両による輸送も実施し、十分な成果を挙げることができた。
- 駐車場で開催した、各種体験型訓練では、多くの参加者が実際に体験することができた。

【今後の対策案】

- 今回は日中の災害を想定し円滑な避難ができたが、夜間などのケアハウス職員の人数が少ない時間帯で対応できるかについて検証が必要である。
- 出屋区内でも住宅の場所によっては、ケアハウス以外の避難場所の設定も必要ではないかとの住民意見もあり、最適な避難行動についてさらに検討が必要となっている。

10月22日（金）19:00～21:00 訓練実施前ワークショップ

地区の役員等を対象とし、訓練予定内容の説明のほか、グループワークを通じて、地域の津波防災における課題の再確認や、避難場所入口での受付訓練、AED訓練等を実施することで、住民の知識や技術の習得が図れるのか確認を実施した。

▼グループワーク



▼アドバイザー講評
（宇都宮大学 近藤准教授）



11月7日（日）9:00～12:00 実働訓練（シェイクアウト訓練・津波避難訓練等）

緊急地震速報の発表後、市民は、各自の居場所でシェイクアウト訓練を実施した。その後、浸水域内の施設では、津波に備え上層階への避難訓練が行われ、周辺地域では、徒歩による避難に加え、車椅子や車両を活用した避難場所までの避難を行った。

また、施設の駐車場では、出屋区住民とケアハウス関係者に向けた、応急救護訓練・パネル展示・車両展示他、各種体験訓練が行われた。

▼シェイクアウト訓練



▼避難訓練（施設内）



▼避難誘導訓練（施設内）



▼避難場所への移動訓練



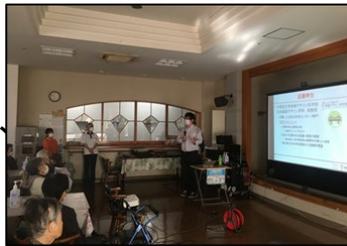
▼車椅子での搬送訓練



▼受付訓練



▼講話（会場内）



▼煙ハウス（駐車場）



▼車両体験（駐車場）



11月24日（火）、3月14日（月） 19:00～21:00 訓練実施後ワークショップ

訓練の内容について振り返るとともに、有識者による防災講演を実施した。その後、地域の防災上の課題をグループワークで話し合い、次年度に各地区で実施する「地区毎の課題を踏まえた防災訓練」の内容について検討を行った。

▼アドバイザー講演
（オンライン）



▼次年度訓練内容の検討

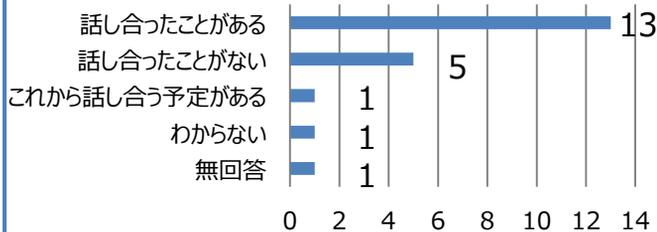


アンケート結果

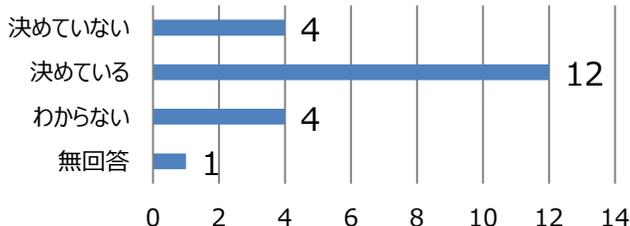
11月7日の防災訓練の会場にて、住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

○地域住民（アンケート回収数：21）

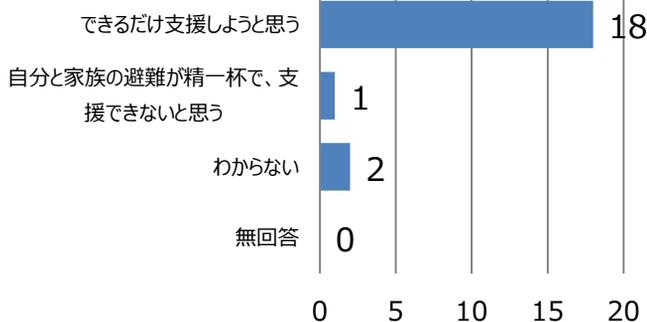
あなたの地域(ご近所)で「災害時の避難について」話し合ったことはありますか。



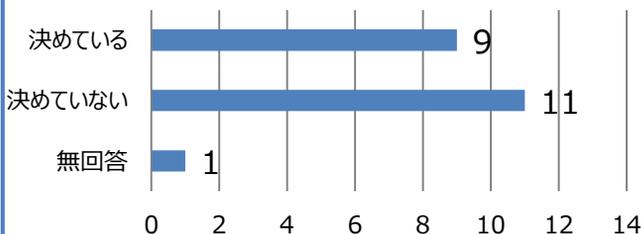
災害に備えて、ご近所での助け合いの方法を決めていましたか。



あなたが避難する際に、「避難行動要支援者」の避難を支援しようと思いませんか。



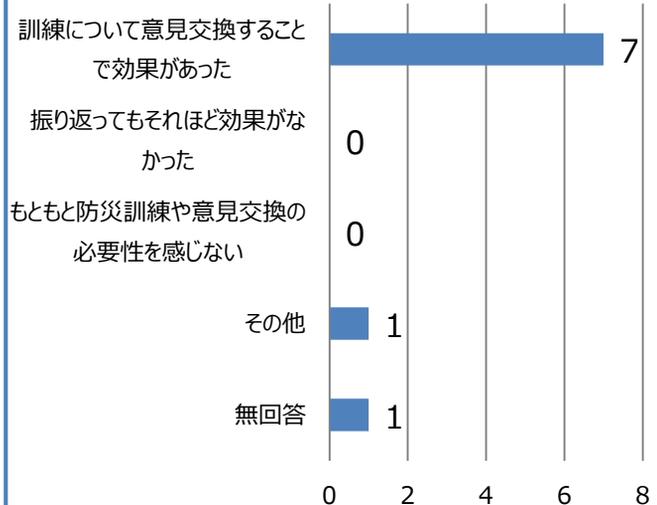
災害時に、家族同士どのように連絡を取るか、家族の中で決めていますか。



訓練後のワークショップにおいて、地区代表者の防災訓練への意識や、地区での防災の取組についてアンケート調査を実施した。

○地区代表者（回収数：9）（複数回答）

防災訓練を振り返った意見交換についてどう考えますか。



出屋区の地区防災計画案を見た感想をお書きください。

